平成 31 年　2月　12日

研修報告書

氏名：水上　都

所属：札幌医科大学医学部遺伝医学

研修期間：平成　30年12月　10日　～　平成　30年12月　13日

研修場所：鳥取大学研究推進機構　研究基盤センター

受講動機：当院では研修が難しい遺伝子解析に関する実習をさせていただきたいと思ったため。

研修内容：



研修成果：

次世代シークエンサーについて、その仕組み、解析の基礎から丁寧に教えていただくことができました。実習では説明書に沿って、手を動かしながら実際の検査の流れを体験することができ、検査の原理、その工程をする理由を理解しながら手技を学ぶことができました。更には次世代シークエンサーの結果の解釈も容易ではなく、様々なことを検討する必要があることを実際に遺伝子検査検討会に参加させていただくことで知ることができました。

また解析で得られたデータをどのように処理していくか、実践していただきながら、その基礎と原理についても教えていただき、理解を深めることができました。今回の実習を通して自分がいかに次世代シークエンサーの結果解釈について理解が足りなかったかを知ることができ、結果が返却されたらどこを検討すべきで、どこに注意をして患者様に返すべきなのか学ぶことができました。

その他（感想・要望・反省点、等）：

お忙しいところ、鳥取大学の先生方には本当にご丁寧かつ親切にご指導していただき感謝の気持ちでいっぱいです。鳥取大学で学んだ4日間は自身にとって大変貴重で有意義なものとなりました。今後の臨床、研究活動においても不可欠な実習であったと思っています。

難波先生、足立先生、岡崎先生、佐伯先生、甲斐先生、この度はご指導いただきまして本当に有難うございました。